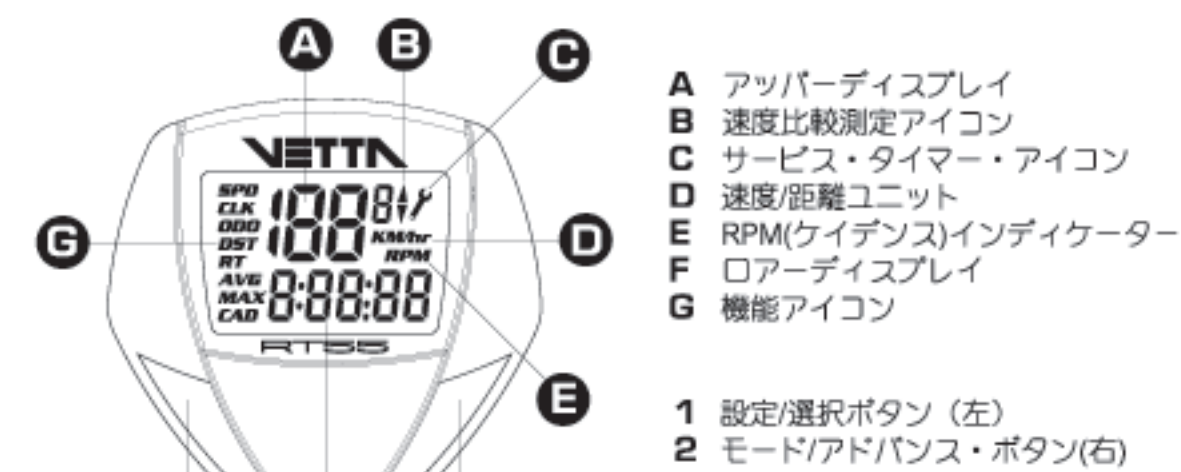


初めにお読みください

- VETTA RT サイクル・コンピュータをお買い上げ頂き、ありがとうございます。VETTA社のコンピュータ製品は、精密機器ですので、当社認定の自転車専門店でお取り付けになるようお願いいたします。なお、インストラクション・マニュアルをよく読まれずには製品を間違えて装着した場合には、保証の対象外となる場合がありますので、ご注意ください。当製品の装着またはご使用方法に関し、ご不明の点がございましたら、お近くの自転車専門店までご相談ください。
- ヘッド・ユニットは防水機能があり、雨天でも正確に機能します。ただし、意図的に水中に浸けるなどの行為はあめくさい。
- ヘッド・ユニットを長時間、炎天下にさらさないでください。
- VETTA社では、常に安全な走行をなさるようお願いいたします。自転車をご利用になる際には、必ずヘルメットを着用し、常に前方に注意を払ってください。また夜間走行時には前輪、後輪のライトをご利用ください。

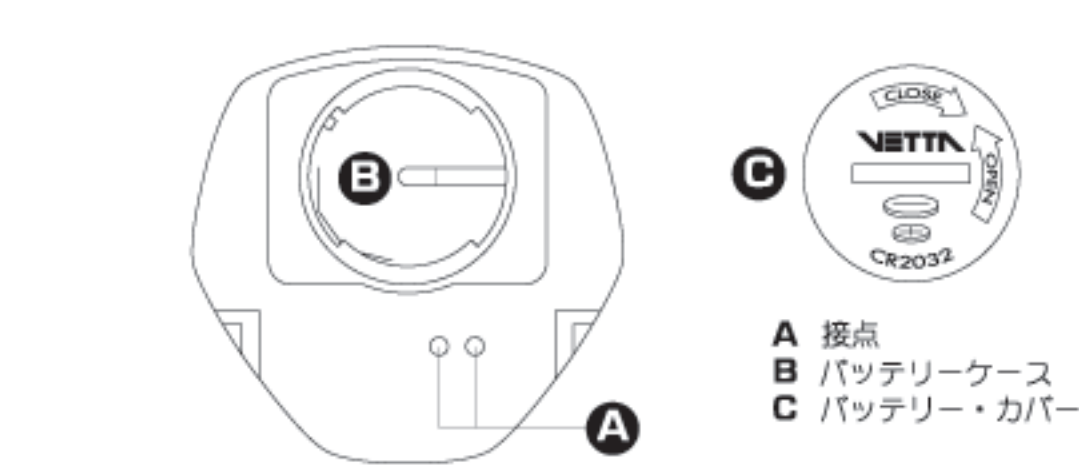
ヘッドユニット：表



- A アッパーディスプレイ
- B 速度比較測定アイコン
- C サービス・タイマー・アイコン
- D 速度/距離ユニット
- E RPM(ケイデンス)インディケータ
- F ローディスプレイ
- G 機能アイコン

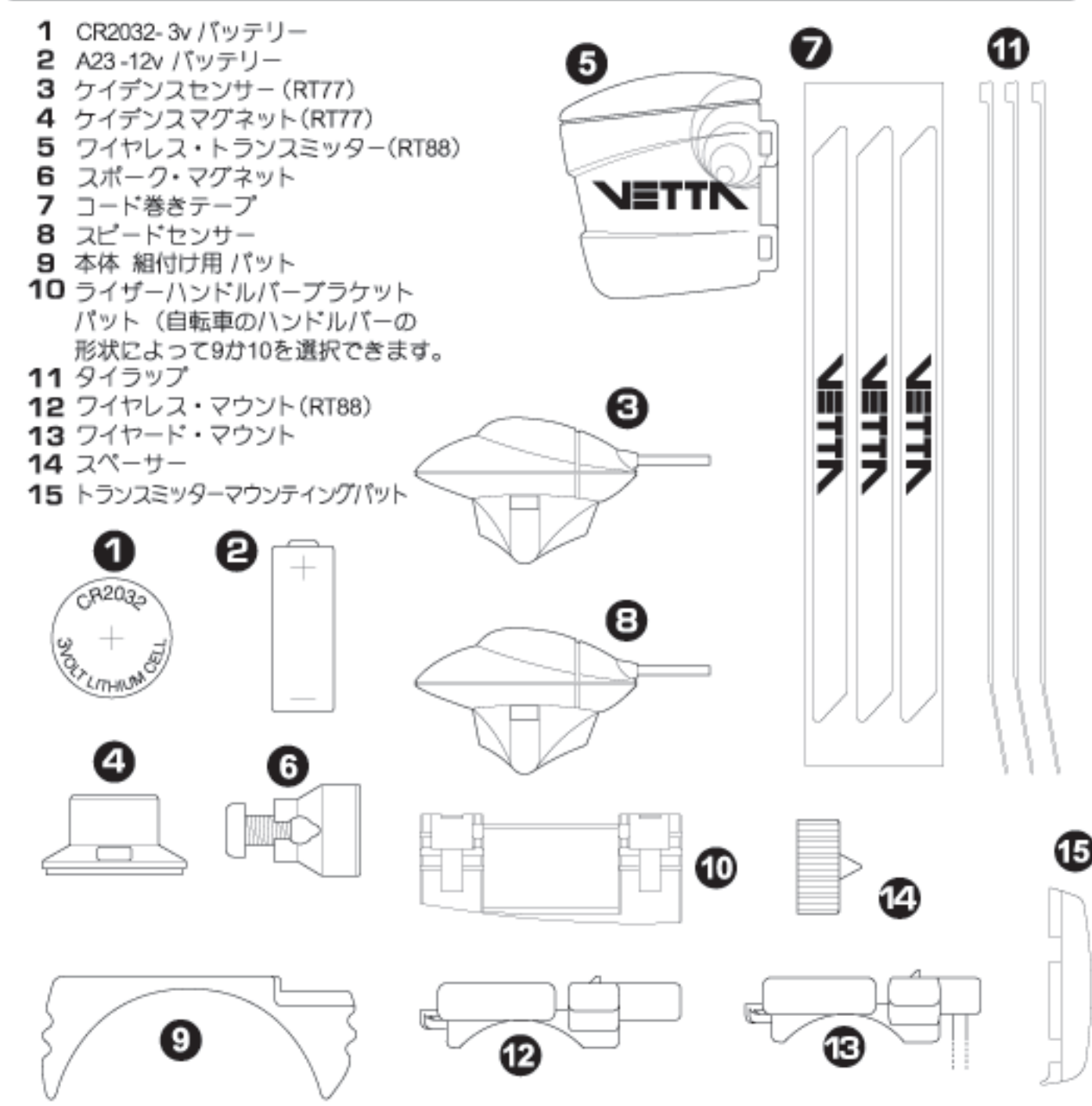
- 1 設定/選択ボタン(左)
- 2 モード/アドバンス・ボタン(右)

ヘッドユニット：裏



- A 接点
- B バッテリーケース
- C バッテリー・カバー

部品説明図



主要機能

SPD RT 33/55/77/88
走行速度は、常にアッパーディスプレイに表示されます。表示精度は0.1マイル/時または0.1Km/時、最大速度表示は139.9マイル/時または、199.9Km/時です。

CLK RT 33/55/77/88
時刻は、12時間または24時間のいずれでも表示可能です。

ODO RT 33/55/77/88
オドメータ(積算距離計)には、99999マイルまたは99999Kmまでの距離が表示されます(表示1.0マイルまたは1Km)。セットアップ・モードで、ご希望のODOセットアップが可能です。備考: バッテリーの交換を10秒未満で行えば、オドメータの表示単位(セットアップで初期設定)および走行距離の値はクリアされません。

DST RT 33/55/77/88
出発点から現在地点までの走行距離を、最大999.9マイルまたはKmまで(0.1マイルまたは1Km)表示します。DSTの走行距離を通常の状態で0にリセットするには、SPD/DSTスクリーン・モード時に、両ボタンを2秒間押ししてください。

RT RT 55/77/88
実際の累計走行時間を最大9時間59分59秒まで表示します。手動で、0にリセットするには、SPD/DSTスクリーン・モード時に、#1ボタンと#2ボタンを同時に2秒間押ししてください。

AVG RT 55/77/88
平均速度を、SPD/AVGスクリーン・モード時に表示します。表示誤差範囲は0.1Kmまたはマイルです。手動で、0にリセットするには、SPD/DSTスクリーン・モード時に、#1ボタンと#2ボタンを同時に2秒間押ししてください。

MAX RT 55/77/88
最高速度をSPD/MAXスクリーン・モード時に表示します。表示誤差範囲は0.1Km/時またはマイル/時です。

CAD RT 77
ケイデンスをSPD/CADスクリーン・モード時に表示し、クランクの1分あたりの回転数(RPM)を測定します。CAD機能が表示されている時は、RPMインディケータのライトが点灯します。

RT 55/77/88
速度比較測定: 走行速度を平均速度と比較し、速度差を測定します。平均速度に比べ、現在の走行速度が遅い場合には▼、また速い場合には▲の矢印を表示します。

RT 33/55/77/88
サービス・タイマー: サスペンション、チェーン、その他部品の定期点検が必要な場合に、レンチ・アイコンを表示してお知らせします。走行経過時間およびサービス・タイマーの設定は、セットアップ・モードで、アッパーおよびローディスプレイでご覧になります。サービス・タイム・インターバル、CLKのフォーマットおよび時刻設定を変更するには、SPD/CLKのモードで、#1と#2ボタンを同時に約2秒間、「12/24時間」フォーマットの表示数字が点滅するまで押ししてください。走行時間を「0」にリセットするには、セットアップ・モードにして、経過時間の表示数字が点滅した時に、#2ボタンを2秒間押ししてください。また、サービス・タイマーの機能を停止するには、セット・アップモードにし、サービス・タイマー・インターバルに「0」を入力します。

補助機能: (RT 77のみ)
補助スクリーン機能には、平均ケイデンス、最大ケイデンスが搭載されています。この2つの機能にアクセスするには、SPD/CADスクリーン・モードで#1ボタンを押します。AVG/CADとMAX/CADを切り替えるには、#2ボタンを押します。また最初のSPD/CAD画面モードに戻るには、#1ボタンを押します。

AVG/CAD RT 77
平均ケイデンスは、AVG/CADスクリーン・モードで表示されます。この値は、総回転数を走行経過時間で割ったものです。マニュアル方式で、「0」にリセットするには、SPD/DSTスクリーン・モードにし、#1ボタンと#2ボタンの両方を2秒間同時に押しします。

MAX/CAD RT 77
最大ケイデンスは、MAX/CADスクリーン・モードで表示されます。この値は、現在の走行時間とケイデンスの値をベースに、1秒ごとに更新されます。手動で、「0」にリセットするには、SPD/DSTスクリーン・モードにし、#1ボタンと#2ボタンの両方を2秒間同時に押しします。

特別機能

スリープ・モード RT 33/55/77/88
バッテリーを長持ちさせるため、ボタンあるいはホイールから5分間情報入力がない場合に、スリープ・モードに切り替わります。その場合、時刻が表示されます。スリープ・モードから通常の状態に戻った時には、スリープ・モード時に入る前に表示されていた画面情報に戻ります。注意: RT88は通常の状態に戻すには、ボタン操作を行ってください。

フリーズ・フレーム・メモリ RT 55/77/88
距離、走行時間、平均速度、最大速度表示をその状態のまま止めておきたい場合には、SPD/DSTあるいはSPD/RTスクリーン・モードにし、#1ボタンを2秒間押しします。この場合は、画面が点滅してフリーズ状態であることを知らせます。セーブしたデータを切り替え、見たい場合には#1ボタンを押します。DSTまたはRTスクリーンに戻るには#2ボタンを押してください。

オール・クリア・リセット RT 33/55/77/88
オール・クリア・リセット: バッテリーを取り外し、再度装着します。バッテリーを取り外すと、すべてのデータ、時間、オドメータの設定が消去されます。再度バッテリーを装着すると、コンピュータが自動的にセットアップ・プログラムに入ります。

バッテリー装着方法

本体の設定方法
RTシリーズのコンピュータはすべて、バッテリーを装着するとセットアップ・モードに入るようプログラムされています。セットアップ・モードでは、#1ボタンを使用することで、値の選択あるいは設定、表示数字の次の数字への移動、あるいはスクリーン・モードに進むことができます。また#2ボタンを使用すると、設定を切り替えたり、表示数字を進めることができます。

12時間/24時間時計の切り替え
#2ボタンを押して、12時間または24時間フォーマットに変更します。その間、表示画面は点滅します。次に#1ボタンを押して、フォーマットを確定し、時刻の設定に進みます。

時刻の設定
CLKモードで時刻を設定するには、#2ボタンを押して時間部分の各桁の数字を進め正確な時間に設定します(ボタンを押すたびに数字が進みます)。次に#1ボタンを押して時間を確定し、分の設定に進みます。同じように#2ボタンを押して分の部分の各桁の数字を進め、#1ボタンを押して確定します(CLKフォーマット、時刻またはサービス・タイム・インターバルを変更するには、SPD/CLKスクリーン・モードで約2秒間、#1と#2ボタンを同時に「12/24時間」フォーマットの表示数字が点滅するまで押しします。)

サービス・タイマーの設定
#2ボタンを押して、時間の部分の各桁を任意のトータル時間まで進め、#1ボタンを押して確定し、次に進みます(最大設定時間は1999時間です)。

速度/距離単位の設定
#2ボタンを押して「Mhr(マイル/時)」と「Kmh(Km/時)」を切り替えます。次に#1ボタンを押して確定し、次に進みます(SPD/ODOスクリーン・モードで単位を切り替えるには、「Mhr」が点滅し始めるまで約2秒間、#1ボタンと#2ボタンを同時に押し続けます。)

ホイール・サイズの設定
デフォルトのホイール円周の設定値は2074mmとなっています。ご自分の自転車の正しいホイール円周サイズを、以下のホイール円周表から選び、#2ボタンを押して正確なサイズになるよう各桁の数字を進めます。そして、#1ボタンを押して確定し、次に進みます(サイズ範囲: 50~2999mm)。

タイヤサイズ	円周値	タイヤサイズ	円周値	タイヤサイズ	円周値
700c x 38mm	2180	700c チューブ式	2130	26" x 2.0"	2074
700c x 35mm	2168	650c x 23mm	1990	26" x 1.9"	2055
700c x 32mm	2155	650c x 20mm	1945	26" x 1.75"	2035
700c x 30mm	2145	27" x 1-1/4"	2161	26" x 1.5"	1985
700c x 28mm	2136	27" x 1-1/8"	2155	26" x 1.25"	1953
700c x 25mm	2124	26" x 2.3"	2135	26" x 1.0"	1913
700c x 23mm	2105	26" x 2.25"	2115	24" x 1.9"	1916
700c x 20mm	2074	26" x 2.1"	2095	20" x 1-1/4"	1618

注意: お客様のホイール・サイズに該当する値がない場合、またより高精度の調整をご希望の場合は、以下の手順でホイールの円周を算出してください。
ステップ1: ミリメートル単位で、前輪の軸の中心から地面までの距離を測ります。
ステップ2: 上記で測定した数字に6.2832(2π)を掛けます。この数値をホイール・サイズとして入力します。または: タイヤと地面の両方に印をつけ、タイヤにつけた印が再度地面に着くまで前方に1回転させ、その地点で地面に印をつけます。最初に地面につけた印との距離をミリメートル単位で測定し、コンピュータに入力します。

オドメータの設定
#2ボタンを押して、元の走行距離表示の値で数字の各桁を進めます(バッテリー交換後)。#1ボタンを押して数字を選択したら、次の桁に進みます。すべての桁の数字を選択し終えたら、コンピュータのセットアップ・モードが終了し、SPD/CLKスクリーン・モードに戻ります(最大設定値=99999)。

各部品の装着手順

ブラケットとヘッド・ユニットの取り付け
付属のテープを使い、ワイヤをケーブルに巻きつけて固定します(以下の図Aを参照)。ブラケットを取り付けます。図(左)に示すように、本体をブラケットにスライドさせ、正確な位置でカチッと音がするまで差し込みます。本体を取り外す場合は、図に示すように、2つのロックリング・タブを内側に押し込みます。注意: フォークおよびハンドルバーが自由に動かないよう、ワイヤには十分ゆとりを持たせておいてください。またブラケットはしっかりと装着することが大切です。よく締め過ぎないでください。

コード式スピードセンサーとマグネット RT 33/55/77
付属のタイラップでコード式スピードセンサーとスポークマグネットを自転車に取り付けてください。スペーサーを使用してセンサーとマグネットの間隔を調整してください。センサーを最終位置にタイラップで固定した後にはスペーサーを取り除いてください。(上図を参照ください。)

コード式ケイデンスセンサーとマグネット RT 77
付属のタイラップでコード式ケイデンスセンサーとケイデンスマグネットを自転車に取り付けてください。スペーサーを使用してセンサーとマグネットの間隔を調整してください。センサーを最終位置にタイラップで固定した後にはスペーサーを取り除いてください。(上図を参照ください。)

WLワイヤレススピードトランスミッターとマグネット RT 88
WLワイヤレストランスミッターはA23 12Vバッテリーを使用します。電池を袋のようにインストールします。キャップを外し、電池のプラスを上側にして挿入し、キャップを元に戻します。

テスト
取り付けが完了したら、コンピュータが正しく動くかどうか以下の手順でテストしてください。
ステップ1: ステップ1: #2ボタンを押して、SPDスクリーン・モードに変更します。
ステップ2: ステップ2: 自転車の前部を持ち上げて、前輪を回転させます。車輪回転後2~3秒以内の速度が表示されなければなりません。
速度表示が現れない場合には、マグネットとセンサーまたはトランスミッターが一直線に並んでいないか、またマグネットとの距離が正確かどうかをチェックしてください。センサーが正しい位置に固定されているかどうかを確認してください。チェックしても問題点が見当たらない場合には、当社認定の販売店までご相談ください。
ケイデンスのテストは、以下の手順で行なってください。クランクを後方に回すか、あるいは短い距離を走行します。数回転した後、ケイデンス表示がSPD/CAD画面の上部ラインに現れるまでです。ケイデンス表示が現れなかったり、あるいはSPD/CADの画面が表示されない場合には、クランク・マグネットとケイデンスセンサーの距離および2つの部品が一直線に並んでいるかどうか、確認してください。
注意: 上記のテストに伴い、スポーク・マグネットの固定ネジおよびすべてのタイラップがしっかりと締まっているかどうかを確認してください。

問題とチェック項目および解決方法

- 速度表示が間違っている、あるいは表示されない。センサー・マグネットとセンサーの並びとトランスミッターとヘッドユニットの間の距離を確認します。タイマーが動作していることも確認してください。
- 速度表示が間違っている、あるいは表示されない。ワイヤーに切断やよじれなどがなければ調整を。必要なら装着ブラケットとセンサーを交換します。
- 動作中に正確なデータがスクリーンに現れる。設定データが間違っている可能性があります(ホイール円周値など)。
- データ表示が非常に遅い。コンピュータのLCDはごく低温の環境では正しく機能しません。動作温度は、摂氏マイナス10度から50度あるいは華氏14度から122度までです。コンピュータはこの範囲の温度環境に戻します。
- スクリーンが暗く、文字が正確に表示されない。長時間、直射日光の下に放置するとコンピュータのスクリーンが機能しなくなります。スクリーンが元の状態に戻るまで日陰に移動させます。データには影響ありません。
- スクリーン表示が薄い、またはかすんでいる。バッテリーが消耗していると考えられます。バッテリーを交換してください。
- スクリーン表示が不規則で、正しい位置に表示されない。バッテリーが消耗していると考えられます。バッテリーを交換してください。
- スクリーンが停止してしまう。ボタンを押しても応答がない。バッテリーが消耗していると考えられます。バッテリーを交換してください。
- スクリーンが何も表示しない。バッテリーの寿命が完全に切れているか、あるいは装着されていません。新しいバッテリーに交換するか、バッテリーを装着してください。

交換および修理保証について
当社保証規定により欠陥のある製品の修理、交換を行いません。当初ご購入者の方に対し、VETTAの全製品に関してご購入の日から3年間、材料および製品に欠陥がないことを保証します。また当社では偶発的、あるいは間接的損害については責任を負いません。お問い合わせはVETTA RT サイクル・コンピュータの機能に問題があるような場合には、VETTA販売店までご連絡ください。

VETTA カスタマーサービスセンター
ライトウェイプロダクツジャパン株式会社
東京都品川区南池袋3-18-34
池袋シティ・ハウス102
Phone: 03-5950-8002
Fax: 03-5956-8028
www.riteway-jp.com